

日本広告学会
第47回全国大会ご案内
[大会プログラム・大会参加申し込み方法]

大会統一論題

広告の社会的意義を考える

—広告主にとっての広告、消費者にとっての広告、世の中にとっての広告—

日本広告学会第47回全国大会

早稲田大学 早稲田キャンパス

2016年10月14日(金)～16日(日)

大会運営委員長 早稲田大学 嶋村和恵

大会運営委員会事務局 早稲田大学 商学学院 嶋村和恵研究室内

住所：〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1

電話・FAX：03-5286-2042 (研究室直通)

E-mail：jaa2016waseda@gmail.com

ご挨拶

これまで本部事務局として学会運営に関わってきた早稲田大学ですが、このたびは早稲田のキャンパスを全国大会の会場とすることになりました。

今回は、「広告の社会的意義を考える」という大きなテーマを掲げています。インターネットやスマートフォンが日常生活に深く入り込み、メディアと広告の関係も大きく変わっています。ネットを使った広告活動では、どれだけ効率的か、便利か、早いか、安いか、お得か、といった側面が重視されるように思いますが、人の気持ちにどう関わるか、周囲の人たちにどのようなまなざしを向けるか、といった広告のもう一つの側面がやや置き去りにされている気がします。技術が進歩した社会において、広告がどのような意義をもつか、基調講演、パネルディスカッション、そして、会員の研究報告から考えていきたいと思っています。

さらに、初の試みとして、研究プロジェクト委員長、学会賞委員長、論集編集委員長によるワークショップ「優れた研究論文・研究計画の書き方と査読への対応」を設けました。日本広告学会の研究水準のさらなる向上に役立てることができれば幸いです。

今回も全国大会の開催に、公益財団法人吉田秀雄記念事業財団、公益社団法人日本アドバイザーズ協会に大変お世話になりました。この場をお借りして心からの御礼を申し上げます。

日本広告学会 第47回全国大会
大会運営委員長 嶋村和恵
(早稲田大学商学大学院)

1. 大会統一論題

広告の社会的意義を考える

—広告主にとっての広告、消費者にとっての広告、世の中にとっての広告—

2. 日程

2016年10月14日（金）～10月16日（日）

- ・14日（金） 午後：各種委員会、拡大常任理事会
- ・15日（土） 午前：基調講演
午後：パネルディスカッション、プロジェクト研究報告、国際学会参加報告、
会員総会、懇親会
- ・16日（日） 統一論題報告、自由論題報告、ワークショップ

3. 会場

早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館

※4階、5階まではエスカレーターをご利用下さい。

4. 基調講演・パネルディスカッション

基調講演

「広告は社会を変えたか 社会は広告を変えたか」

講演者 ^{わかた} ^{なおえ}
脇田 直枝 氏 (コピーライター/元電通EYE社長)

〈略歴〉

早稲田大学文学部を卒業後、フリーを経て電通入社。女性だけの広告会社・電通EYEを設立、代表取締役を務める。2003年、第43回日本宣伝賞「吉田賞」受賞。2015年に宣伝会議より『広告は、社会を揺さぶった—ボーヴォワールの娘たち—』を出版。

パネルディスカッション

「広告の社会的意義を考える—広告主にとっての広告、消費者にとっての広告、世の中にとっての広告—」

パネリスト

^{うめたに} ^{ひでき}
榎谷 秀喜 氏 (パナソニック株式会社 コンシューマーマーケティングジャパン本部 コミュニケーション部部长)

- ・パナソニックで国内家電の広報・宣伝・WEB・販促を担当。男性が白物家電のCMで活躍する「ふだんプレミアム」の広告を企画。

^{なくい} ^{たかのり}
名久井 貴詞 氏 (味の素株式会社 クリエイティブ統括部長)

- ・味の素で初の海外赴任を経験した企業内クリエイター。多くのパッケージデザインや広告の企画・制作を担当。

^{ふるい} ^{さいこ}
古井 彩子 氏 (株式会社電通東日本 クリエイティブディレクター)

- ・流通、家電、化粧品など、さまざまなクライアントの広告制作を担当。

脇田 直枝 氏 (コピーライター/元電通EYE社長)

コーディネーター

嶋村 和恵 (早稲田大学 商学大学院 教授)

5. 大会プログラム

【1日目:10/14(金)】

受付:11号館 4階 会議室前

	11号館 4階			
	大会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室
14:00 ~ 16:00	休憩室	各種委員会		学会賞委員会
16:00 ~ 18:00	拡大常任理事会			

【2日目:10/15(土)】

受付:11号館 5階 アトリウム/休憩室:11号館 4階 第4会議室

	11号館 5階 501教室 [※]
10:00 ~ 10:10	開会挨拶 嶋村和恵 (第47回全国大会運営委員長/早稲田大学)
10:10 ~ 10:20	会長挨拶 日本広告学会会長
	(休憩)
10:30 ~ 11:30	基調講演 広告は社会を変えたか 社会は広告を変えたか 脇田直枝氏 (コピーライター/元電通EYE社長)
	昼食
13:00 ~ 15:00	パネルディスカッション 広告の社会的意義を考える—広告主にとっての広告、消費者にとっての広告、世の中にとっての広告— パネリスト 榎谷秀喜氏 (パナソニック株式会社) / 名久井貴詞氏 (味の素株式会社) / 古井彩子氏 (株式会社電通東日本) / 脇田直枝氏 (コピーライター/元電通EYE社長) コーディネーター 嶋村和恵 (早稲田大学)
	休憩
15:15 ~ 15:45	プロジェクト研究報告 (萌芽研究) イベントインデックスモデルを用いた物語広告の分析 津村将章 (九州産業大学)・福田怜生 (学習院大学大学院)
15:45 ~ 16:00	国際学会参加報告 藪口宗宣 (早稲田大学大学院)
	休憩
16:15 ~ 17:30	会員総会
	休憩
17:40 ~ 19:30	懇親会 (会場: 早稲田大学 11号館 4階 大会議室)

※ 建物、教室は変更の可能性があります。

【3日目:10/16(日)】

受付:11号館 5階 アトリウム/休憩室・昼食会場:11号館 5階 505教室

11号館 5階			
507教室		502教室	
統一論題報告		自由論題報告	
9:30 ~ 10:00	〈積極的消権空間〉がもたらす クリエイティブ・コミュニケーション 中村優子(東京都市大学)	現場担当者から見た 医薬品広告の社会的意義 田口広克(全国仲人連合会)	動画広告の活用における 課題整理 進藤美希(東京工科大学) 松本敦実(日経広告研究所) 土山誠一郎(日経広告研究所)
10:05 ~ 10:35	視覚障害者に資する 「手で触って見る広告」の 開発・普及 安田輝男(筑波技術大学)	人工知能が広告にもたらす 「コグニティブ(認知)」精度向上 植田康孝(江戸川大学)	書体の印象評価と可読性評価 における書道学習経験による違い 向井志緒子(千葉大学大学院)
10:40 ~ 11:10	字幕付きCMの効果に関する研究 劉玉婷(早稲田大学大学院)	クリエイティブブリーフの 歴史的展望 村尾俊一(戦略プランニング研究所)	ライフ・ストーリー・インタビュー によるブランド形成要因の探索 櫻井光行 (ビジネス・デザイン・アソシエイツ)
11:15 ~ 11:45	シニア・高齢者へアプローチ できるデザイン —ターゲットの心をつかむ— 西垣泰子(明星大学)	Amplified WOM を実現させる 方法論に関する考察 —ブランド・アドボケイトの 組織化による可能性— 藤崎実 (アジャイルメディア・ネットワーク)	“メディア・フォロー”の視点から みたネットインフルエンサーの 情報行動性向 坂井直樹(日経広告研究所)
昼食			
自由論題報告			
13:00 ~ 13:30	ホリスティックな広告現象の理解 —くまモン叙事詩— 柳井猛晶(東洋大学大学院)	たったひとつのブランディング のケース・スタディ —サントリー『伊右衛門』の場合— 井徳正吾(文教大学)	購買による顧客評価の限界 について —The Power of Customer Advocacy— 山岡隆志(名古屋商科大学)
13:35 ~ 14:05	—	ブランド価値を形成する顧客 生態系に関する試論 首藤明敏(明治大学大学院)	アジアのテレビ広告におけるジェン ダー役割 —日本・中国・韓国・タイ・ シンガポールの国際比較研究— ピヤ・ボンサビタックサント (長崎県立大学)
休憩			
501教室			
14:15 ~ 15:45	ワークショップ 優れた研究論文・研究計画の書き方と査読への対応 川村洋次(近畿大学) 疋田聡(東洋大学) 広瀬盛一(東京富士大学)		
15:50 ~ 16:00	閉会挨拶 日本広告学会副会長		

6. 参加申し込み方法

(1) 正会員・名誉会員のお申し込み

この通信に同封されている「払込取扱票」を用いて、「大会参加費等」をご参照の上、該当する参加費等を払い込んでください。その際、「払込取扱票」の通信欄に明細をご記入ください。参加費の払い込みをもって参加登録の手続完了といたします。

なお、10月5日(水)までに払い込みいただく場合と10月6日(木)以降に払い込みいただく場合で、参加費が異なりますのでご注意ください。

また、大学院生(博士前期課程、修士課程、博士後期課程、社会人大学院生を含む)の正会員は、参加費が割引になります。当日、必ず学生証を持参してください。

(2) 賛助会員のお申し込み

ご担当者は別紙「参加者名簿」に必要な事項を記入し、大会運営委員会事務局までメールまたはFAXでご提出ください。詳しくは別紙「【賛助会員用】全国大会参加申し込み方法のご案内」をご覧ください。「参加者名簿」のWordファイルが必要な方は、大会運営委員会事務局までお問い合わせください。

※賛助会員社にご所属の個人会員は、賛助会員の無料枠の適用はできません。個々に正会員・名誉会員としてお申し込みください。

(3) 非会員のお申し込み

大会運営委員会事務局までメールでご連絡ください。なお、非会員の参加費には事前割引が適用されません。学部生、会員家族は無料でご参加いただけますが、資料は有料です。

(4) 昼食について

15日(土)の昼食は、大学周辺の飲食店、学内外のコンビニエンスストア等をご利用ください。

16日(日)は、学内コンビニエンスストアが閉店し、開いている飲食店も少なくなりますので、10月5日(水)までにお申し込みいただければ、昼食弁当をご用意いたします(1食1,000円)。必要な方は、大会参加費と併せて払い込みください。

〈大会参加費等〉

10月5日(水)までに払い込みの場合

参加者	大会参加費	懇親会費(10/15土)	弁当代(10/16日)	資料の追加
正会員・名誉会員	¥5,000	¥5,000	¥1,000	¥2,000 (1部)
正会員(大学院生)	¥2,500			
賛助会員(1~3人)	無料			
賛助会員(4人目~)	¥5,000			
非会員(一般)	¥7,500			
非会員(学部生・会員家族)	無料			

10月6日(木)以降に払い込みの場合

参加者	大会参加費	懇親会費(10/15土)	資料の追加
正会員・名誉会員	¥7,500	¥5,000	¥2,000 (1部)
正会員(大学院生)	¥3,500		
賛助会員(1~3人)	無料		
賛助会員(4人目~)	¥7,500		
非会員(一般)	¥7,500		
非会員(学部生・会員家族)	無料		

※大学院生(博士前期課程、修士課程、博士後期課程、社会人大学院生を含む)の正会員は、参加費が割引になります。学生証の提示が条件となりますので、大会当日に必ず持参してください。

※賛助会員社にご所属の個人会員には、賛助会員の無料枠の適用はできません。個々に正会員・名誉会員としてお申し込みください。

※10月16日(日)の昼食弁当をご希望の場合には、10月5日までに代金払い込みの上、お申し込みください(1食1,000円)。それ以降のご希望は、申し訳ありませんが対応できません。

7. 交通アクセス



☆早稲田キャンパス (西早稲田キャンパスとは別です)

J R 山手線、西武鉄道新宿線：「高田馬場」駅から徒歩 20 分

地下鉄東西線：「早稲田」駅から徒歩 5 分

地下鉄副都心線：「西早稲田」駅から徒歩 17 分

都電荒川線：「早稲田」駅から徒歩 5 分

都営バス：「早大正門」停留所から徒歩 1 分

キャンパス内の詳細は、下記のリンク先の地図をご確認ください。

(<http://www.waseda.jp/top/assets/uploads/2015/08/waseda-campus-map.pdf>)

8. 第 47 回全国大会運営委員会

運営委員

- ・委員長 嶋村和恵 (早稲田大学)
- ・副委員長 広瀬盛一 (東京富士大学)
- ・委員 石崎徹 (専修大学)、田部溪哉 (早稲田大学)、広渡紀子 (広渡事務所)、松本大吾 (千葉商科大学)

大会に関するお問い合わせは大会運営委員会事務局宛にお寄せください。できる限りメールでいただければ幸いです。

事務局：早稲田大学 商学学院 嶋村和恵研究室内

住所：〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1

電話・FAX：03-5286-2042 (研究室直通)

E-mail：jaa2016waseda@gmail.com